

令和5年度学校評価計画

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校																																														
1 前年度 評価結果の概要	<p>・「唯一無二の誇り高き学校づくり」の課題については、両キャンパスともに、具体的な取組に着手し始めたところである。継続した取組になるよう今後の計画を熟考する必要がある。</p> <p>・コロナ禍の中、学校祭や芸術鑑賞会等の行事を合同で行うことができた。一方で、校外活動にはその影響が残っており、オンライン実施も含めて、より効果的な教育活動を創出していく必要がある。</p>																																														
2 学校教育目標	心身ともに健康で逞しく、「至誠」と「礼節」を重んじ、専門的知識・技術を生かし社会に貢献し愛される人材を育成する。																																														
3 本年度の重点目標	<p>① 心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり</p> <p>② 学習意欲を高め、確かな学力習得（修得）と進路実現を図る</p> <p>③ Society5.0や6次産業化などの次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る</p>																																														
4 重点取組内容・成果指標																																															
(1)共通評価項目																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="201 940 1465 970">重点取組</th> <th colspan="2" data-bbox="1467 940 1969 970">具体的取組</th> </tr> <tr> <th data-bbox="201 976 459 1020">評価項目</th> <th data-bbox="464 976 961 1020">取組内容</th> <th data-bbox="966 976 1465 1020">成果指標 (数値目標)</th> <th data-bbox="1467 976 1969 1020"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="201 1026 459 1219">●学力の向上</td> <td data-bbox="464 1026 961 1130">○専門的知識・技術の向上</td> <td data-bbox="966 1026 1465 1130">○アグリマイスター取得生徒5名以上(農林キャンパス) ○専門に関する資格取得数4個以上の生徒80%以上</td> <td data-bbox="1467 1026 1969 1130">・実習や実践授業、実験等を通して、目的や目標を明確に示し、できたことをほめることで、学習意欲を向上させる ・課題研究を通して探究活動を充実する</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1136 961 1219">○基礎学力の向上</td> <td data-bbox="966 1136 1465 1219">○朝の小テストの平均正答率7割以上 ○「小テストや朝の学習が基礎学力向上につながった」と回答した生徒が60%以上</td> <td data-bbox="1467 1136 1969 1219">・進路実現に向けた取り組みであることを理解させることで、主体的に学習する意識付けを行う ・学校全体で取り組むことで、学習環境を醸成する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1225 459 1567">●心の教育</td> <td data-bbox="464 1225 961 1368">●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td> <td data-bbox="966 1225 1465 1368">○「地域貢献活動等を通して、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付けた」と答えた生徒80%以上 ○生徒指導講話(交通安全・防犯・薬物防止)を受講して、「ためになった」と答える生徒80%以上</td> <td data-bbox="1467 1225 1969 1368">・開校記念行事登山での清掃活動や地域貢献活動を通して、思いやりや社会性を育成する ・外部講師による講話(交通安全・防犯・薬物防止)を実施し、生徒がそれらの問題に対して関心を持ち、自ら対処できる知識を身に付けさせる</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1374 961 1567">●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</td> <td data-bbox="966 1374 1465 1567">○いじめ重大事案件数0件</td> <td data-bbox="1467 1374 1969 1567">・いじめ等の対処について、両キャンパスの全職員が同じ意識で取り組むことができるようにマニュアルを作成し、配布する ・いじめに関するアンケートを年間に複数回実施する ・いじめを覚知した場合は、迅速に事実確認を行い、対策委員会を開催して組織的に対応を図る ・教育相談だよりの発行</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1573 961 1656">◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動</td> <td data-bbox="966 1573 1465 1656">○県内就職率(3年生)60%以上 ○将来、県内で働きたいと考えている生徒(1,2年生)が70%以上</td> <td data-bbox="1467 1573 1969 1656">・朝読書の時間に「佐賀語り」を読む期間を設ける ・インターンシップの事前指導で、地元企業調べを実施する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1662 459 1819">●健康・体づくり</td> <td data-bbox="464 1662 961 1745">●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</td> <td data-bbox="966 1662 1465 1745">●「健康に良い食事をしている生徒80%以上」</td> <td data-bbox="1467 1662 1969 1745">・保健だよりの10回以上発行 ・食に関するアンケートによる意識調査を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1751 961 1819">●「安全に関する資質・能力の育成」</td> <td data-bbox="966 1751 1465 1819">●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする</td> <td data-bbox="1467 1751 1969 1819">・定期的に通学路において自転車等の登校指導を行う ・交通安全講話の実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 1825 459 2027">●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td> <td data-bbox="464 1825 961 1938">●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</td> <td data-bbox="966 1825 1465 1938">●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する</td> <td data-bbox="1467 1825 1969 1938">・定時退勤日の設定及び呼びかけ ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・年休、振休の積極的な取得を奨励</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 1944 961 2027">○校舎制学校における業務の効率化</td> <td data-bbox="966 1944 1465 2027">○キャンパス間の密な連絡を定着させる</td> <td data-bbox="1467 1944 1969 2027">・校務分掌や学年単位で両キャンパスの情報共有を図る ・会議の一本化を図る</td> </tr> </tbody> </table>				重点取組		具体的取組		評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		●学力の向上	○専門的知識・技術の向上	○アグリマイスター取得生徒5名以上(農林キャンパス) ○専門に関する資格取得数4個以上の生徒80%以上	・実習や実践授業、実験等を通して、目的や目標を明確に示し、できたことをほめることで、学習意欲を向上させる ・課題研究を通して探究活動を充実する		○基礎学力の向上	○朝の小テストの平均正答率7割以上 ○「小テストや朝の学習が基礎学力向上につながった」と回答した生徒が60%以上	・進路実現に向けた取り組みであることを理解させることで、主体的に学習する意識付けを行う ・学校全体で取り組むことで、学習環境を醸成する	●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「地域貢献活動等を通して、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付けた」と答えた生徒80%以上 ○生徒指導講話(交通安全・防犯・薬物防止)を受講して、「ためになった」と答える生徒80%以上	・開校記念行事登山での清掃活動や地域貢献活動を通して、思いやりや社会性を育成する ・外部講師による講話(交通安全・防犯・薬物防止)を実施し、生徒がそれらの問題に対して関心を持ち、自ら対処できる知識を身に付けさせる		●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ重大事案件数0件	・いじめ等の対処について、両キャンパスの全職員が同じ意識で取り組むことができるようにマニュアルを作成し、配布する ・いじめに関するアンケートを年間に複数回実施する ・いじめを覚知した場合は、迅速に事実確認を行い、対策委員会を開催して組織的に対応を図る ・教育相談だよりの発行		◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○県内就職率(3年生)60%以上 ○将来、県内で働きたいと考えている生徒(1,2年生)が70%以上	・朝読書の時間に「佐賀語り」を読む期間を設ける ・インターンシップの事前指導で、地元企業調べを実施する	●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている生徒80%以上」	・保健だよりの10回以上発行 ・食に関するアンケートによる意識調査を実施する		●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・定期的に通学路において自転車等の登校指導を行う ・交通安全講話の実施	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日の設定及び呼びかけ ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・年休、振休の積極的な取得を奨励		○校舎制学校における業務の効率化	○キャンパス間の密な連絡を定着させる	・校務分掌や学年単位で両キャンパスの情報共有を図る ・会議の一本化を図る
重点取組		具体的取組																																													
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)																																													
●学力の向上	○専門的知識・技術の向上	○アグリマイスター取得生徒5名以上(農林キャンパス) ○専門に関する資格取得数4個以上の生徒80%以上	・実習や実践授業、実験等を通して、目的や目標を明確に示し、できたことをほめることで、学習意欲を向上させる ・課題研究を通して探究活動を充実する																																												
	○基礎学力の向上	○朝の小テストの平均正答率7割以上 ○「小テストや朝の学習が基礎学力向上につながった」と回答した生徒が60%以上	・進路実現に向けた取り組みであることを理解させることで、主体的に学習する意識付けを行う ・学校全体で取り組むことで、学習環境を醸成する																																												
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「地域貢献活動等を通して、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付けた」と答えた生徒80%以上 ○生徒指導講話(交通安全・防犯・薬物防止)を受講して、「ためになった」と答える生徒80%以上	・開校記念行事登山での清掃活動や地域貢献活動を通して、思いやりや社会性を育成する ・外部講師による講話(交通安全・防犯・薬物防止)を実施し、生徒がそれらの問題に対して関心を持ち、自ら対処できる知識を身に付けさせる																																												
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ重大事案件数0件	・いじめ等の対処について、両キャンパスの全職員が同じ意識で取り組むことができるようにマニュアルを作成し、配布する ・いじめに関するアンケートを年間に複数回実施する ・いじめを覚知した場合は、迅速に事実確認を行い、対策委員会を開催して組織的に対応を図る ・教育相談だよりの発行																																												
	◎★ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○県内就職率(3年生)60%以上 ○将来、県内で働きたいと考えている生徒(1,2年生)が70%以上	・朝読書の時間に「佐賀語り」を読む期間を設ける ・インターンシップの事前指導で、地元企業調べを実施する																																												
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている生徒80%以上」	・保健だよりの10回以上発行 ・食に関するアンケートによる意識調査を実施する																																												
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・定期的に通学路において自転車等の登校指導を行う ・交通安全講話の実施																																												
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・定時退勤日の設定及び呼びかけ ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定 ・年休、振休の積極的な取得を奨励																																												
	○校舎制学校における業務の効率化	○キャンパス間の密な連絡を定着させる	・校務分掌や学年単位で両キャンパスの情報共有を図る ・会議の一本化を図る																																												
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="201 2068 1465 2098">重点取組</th> <th colspan="2" data-bbox="1467 2068 1969 2098">具体的取組</th> </tr> <tr> <th data-bbox="201 2104 459 2148">評価項目</th> <th data-bbox="464 2104 961 2148">重点取組内容</th> <th data-bbox="966 2104 1465 2148">成果指標 (数値目標)</th> <th data-bbox="1467 2104 1969 2148"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="201 2154 459 2267">○ICT利活用</td> <td data-bbox="464 2154 961 2267">○職員のスキルアップと生徒の学習用PC利活用率の向上</td> <td data-bbox="966 2154 1465 2267">○電子黒板または学習用PCを活用した授業の実施率80%以上(教員) ○課題研究での学習用PCの活用率80%以上(生徒)</td> <td data-bbox="1467 2154 1969 2267">・効果的なICT機器の活用(教科指導において、効果的な場面で電子黒板等を活用) ・課題研究において、記録、発表スライドの作成等で学習用PCを活用する</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 2273 459 2519">★唯一無二の誇り高き学校づくり</td> <td data-bbox="464 2273 961 2338">【農林キャンパス】 ★農業を通じた地域連携活動や交流活動の推進</td> <td data-bbox="966 2273 1465 2338">★「農業を通じた地域連携活動や交流活動ができている」と答えた生徒80%以上</td> <td data-bbox="1467 2273 1969 2338">・SAGAスマート・ラーニング(SSL)を通して「人と環境に優しい農業教育」に取り組む</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 2344 961 2410">【商業キャンパス】 ★実践的な授業や実習を通して地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)が求めるスキルを身に付ける</td> <td data-bbox="966 2344 1465 2410">★「地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)で役立つスキルを身に付けた」と答えた生徒80%以上 ★専門教科に関連した検定試験の合格率80%以上</td> <td data-bbox="1467 2344 1969 2410">・会社を模した実践型授業を年間複数回実施 ・地域産業界から外部講師を派遣してもらい講話や講演会を実施する</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="464 2415 961 2519">【両キャンパス】 ★農業教育、商業教育の学び合いによる相乗効果を生み出す</td> <td data-bbox="966 2415 1465 2519">★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上</td> <td data-bbox="1467 2415 1969 2519">・学校祭を通して、それぞれの校舎での学びの良いところを知る ・学校だよりを通して、互いのキャンパスの活躍を知る</td> </tr> <tr> <td data-bbox="201 2525 459 2671">○学校情報の発信</td> <td data-bbox="464 2525 961 2671">○広報活動に努め、開かれた学校づくりに取り組む</td> <td data-bbox="966 2525 1465 2671">○学校だよりを年間8回発行 ○学校HPの「キャンパス News」「キャンパス Event」を随時更新する。</td> <td data-bbox="1467 2525 1969 2671">・学校だよりを発行し、保護者や近隣中学校等に配布する ・学校行事やイベントについての案内にHPを積極的に活用する ・各マスコミに対して、積極的に取材を依頼する</td> </tr> </tbody> </table>				重点取組		具体的取組		評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		○ICT利活用	○職員のスキルアップと生徒の学習用PC利活用率の向上	○電子黒板または学習用PCを活用した授業の実施率80%以上(教員) ○課題研究での学習用PCの活用率80%以上(生徒)	・効果的なICT機器の活用(教科指導において、効果的な場面で電子黒板等を活用) ・課題研究において、記録、発表スライドの作成等で学習用PCを活用する	★唯一無二の誇り高き学校づくり	【農林キャンパス】 ★農業を通じた地域連携活動や交流活動の推進	★「農業を通じた地域連携活動や交流活動ができている」と答えた生徒80%以上	・SAGAスマート・ラーニング(SSL)を通して「人と環境に優しい農業教育」に取り組む		【商業キャンパス】 ★実践的な授業や実習を通して地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)が求めるスキルを身に付ける	★「地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)で役立つスキルを身に付けた」と答えた生徒80%以上 ★専門教科に関連した検定試験の合格率80%以上	・会社を模した実践型授業を年間複数回実施 ・地域産業界から外部講師を派遣してもらい講話や講演会を実施する		【両キャンパス】 ★農業教育、商業教育の学び合いによる相乗効果を生み出す	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上	・学校祭を通して、それぞれの校舎での学びの良いところを知る ・学校だよりを通して、互いのキャンパスの活躍を知る	○学校情報の発信	○広報活動に努め、開かれた学校づくりに取り組む	○学校だよりを年間8回発行 ○学校HPの「キャンパス News」「キャンパス Event」を随時更新する。	・学校だよりを発行し、保護者や近隣中学校等に配布する ・学校行事やイベントについての案内にHPを積極的に活用する ・各マスコミに対して、積極的に取材を依頼する																
重点取組		具体的取組																																													
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)																																													
○ICT利活用	○職員のスキルアップと生徒の学習用PC利活用率の向上	○電子黒板または学習用PCを活用した授業の実施率80%以上(教員) ○課題研究での学習用PCの活用率80%以上(生徒)	・効果的なICT機器の活用(教科指導において、効果的な場面で電子黒板等を活用) ・課題研究において、記録、発表スライドの作成等で学習用PCを活用する																																												
★唯一無二の誇り高き学校づくり	【農林キャンパス】 ★農業を通じた地域連携活動や交流活動の推進	★「農業を通じた地域連携活動や交流活動ができている」と答えた生徒80%以上	・SAGAスマート・ラーニング(SSL)を通して「人と環境に優しい農業教育」に取り組む																																												
	【商業キャンパス】 ★実践的な授業や実習を通して地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)が求めるスキルを身に付ける	★「地域産業(事務、販売、流通分野、IT分野)で役立つスキルを身に付けた」と答えた生徒80%以上 ★専門教科に関連した検定試験の合格率80%以上	・会社を模した実践型授業を年間複数回実施 ・地域産業界から外部講師を派遣してもらい講話や講演会を実施する																																												
	【両キャンパス】 ★農業教育、商業教育の学び合いによる相乗効果を生み出す	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上	・学校祭を通して、それぞれの校舎での学びの良いところを知る ・学校だよりを通して、互いのキャンパスの活躍を知る																																												
○学校情報の発信	○広報活動に努め、開かれた学校づくりに取り組む	○学校だよりを年間8回発行 ○学校HPの「キャンパス News」「キャンパス Event」を随時更新する。	・学校だよりを発行し、保護者や近隣中学校等に配布する ・学校行事やイベントについての案内にHPを積極的に活用する ・各マスコミに対して、積極的に取材を依頼する																																												

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり